

症状長く続くなら手術も

手首の痛みでお困りではないでしょうか。手首が痛いと、荷物を持ったりドアノブを回したり、最近ではスマートフォンを持ったり、生活で困る場面が多いと思います。

手首の親指側が痛い場合、ド・ケルバン腱鞘炎という疾患を疑います。仕事や家事で手をよく使う方や、出産直後の女性に起きやすいとされています。チェック方法として、親指を曲げ伸ばした際や、親指を握りながら手首を小指側に動かした際に痛みが出ないかを、確かめてみてください。また、この疾患は腱鞘炎であり、腱を抑える腱鞘が厚くなっていますので、手首の親指側がボコっと膨らんでいないかどうかや、そこを押して痛みがないかもチェックしてみてください。

似たような痛みの疾患として、母指CM関節症という軟骨のすり減りが問題である疾患がありますので、まず整形外科でエックス線検査を受

手首の痛み ド・ケルバン腱鞘炎

けることは必要です。

ド・ケルバン腱鞘炎の治療法としては、基本は湿布やサポーターになります。サポーターには親指を固定するものや手首を固定するものなど、いろいろあります。ご自分の痛み方や生活状況にあったものを、お近くの医療機関でご相談ください。また、症状が長期間続く場合には手術をした方が良いこともあります。お困りの際は、手外科の医療機関を受診してください。手外科専門医は日本手外科学会ホームページでご覧になれます。

(整形外科部長・西塙隆伸)

二〇一六年一月～一八年十二月に掲載した「中日病院だより」を再開。同病院に勤務する医師が、現代人を悩ますさまざまな疾患と、それに対する最新の治療法を紹介します。掲載は毎月一回の予定です。



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎052(961)2491

チェック方法

